

## 5－4 情報セキュリティの危機管理能力のセミナー

### ＜事業計画＞

学校法人及び大学の教育研究資産、金融資産、マイナンバー等の情報資産へのサイバー攻撃を防御するため、役員、情報担当部門の責任者、関係教職員を対象に、「大学情報セキュリティ研究講習会」をオンライン方式で実施する。防御意識に基づく行動が組織的に展開されるよう学長等法人トップへの呼びかけ、先端技術情報等の保護対策、本協会の情報セキュリティベンチマークを踏まえたリスクマネジメント対策の強化、オンライン授業やテレワークでのセキュリティ対策、サイバー攻撃被害を想定した検知から事後対応までの手順などの情報提供や意見交換を行う。また、政府や関連機関と連携して情報セキュリティの関連情報を整理し、大学が抱える問題に活用できるようにするため、情報セキュリティ対策問題研究小委員会にて、「情報セキュリティ関連情報」のプラットフォームを充実して情報発信を行う。

### ＜事業の実施結果＞

「情報セキュリティ研究講習会運営委員会」と「情報セキュリティ対策問題研究小委員会」を継続設置し、情報セキュリティの危機管理能力のセミナーとして「大学情報セキュリティ研究講習会」を実施した。以下に、委員会及び研究講習会の活動を報告する。

#### 情報セキュリティ研究講習会運営委員会

2021年(令和3年)10月14日に8名が出席し、開催要項の策定、実施準備を行った。

##### (1) 開催要項の策定

構成員全員がサイバー攻撃の脅威を再確認し、各自の防御行動、組織的な防御対策が進展するよう、大学での対策事例、ベンチマークリストを用いた自己点検・評価・改善、DXに向けたセキュリティの考え方などを通じて、大学の対応力に沿った情報セキュリティ対策の考察を目指して、以下のように開催要項を策定した。

##### 2021年度大学情報セキュリティ研究講習会開催要項

1. 開催日程：令和3年11月18日(木)
2. 会 場：Zoom会議室
3. 対 象 者：大学・短期大学の教職員、賛助会員企業の社員でセキュリティに関係・関心のある責任者及び担当者
4. 開催趣旨

新型コロナウイルス対策により遠隔授業やリモートワークを早急に実施する中で、情報セキュリティの不備を狙う攻撃が増加しています。また、コロナ禍によりDX(デジタルトランスフォーメーション)に向けた取組みが加速するとともに、セキュリティの備えが求められています。

そこで本協会では、構成員全員がサイバー攻撃の脅威を再確認し、各自の防御行動、組織的な防御対策が進展するよう、大学での対策事例、ベンチマークリストを用いた自己点検・評価・改善、DXに向けたセキュリティの考え方などを通じて、大学の対応力に沿った情報セキュリティ対策の考察を目指します。

##### 5. 研究講習会のプログラム

###### (1) 開会挨拶

中嶋 卓雄 氏（東海大学学長補佐、情報セキュリティ研究講習会担当理事）

###### (2) 情報セキュリティ関連の最新動向

岩本 真人 氏（トレンドマイクロ(株)プロジェクト推進本部）

###### (3) クラウドセキュリティ対策と在宅セキュリティ対策の事例紹介

楠 仁志 氏（早稲田大学情報企画部）

###### (4) 大学情報セキュリティベンチマークリストの結果報告と課題

中嶋 卓雄 氏（東海大学学長補佐、情報セキュリティ研究講習会担当理事）

- (5) クラウドストレージによるセキュリティ強化の事例紹介～メール添付やファイル共有対策  
高島 伸治 氏（金沢工業大学情報処理サービスセンターシステム部長）
- (6) グループ意見交換 1  
※ 事前課題（USB紛失事故ケーススタディ）やベンチマークリストの結果を踏まえて、自大学のセキュリティ対策・対応力を振り返り、課題を共有します。
- (7) ゼロトラストの実現に向けて  
中田 寿穂 氏（日本マイクロソフト（株）文教営業統括本部スペシャリスト）
- (8) セキュリティ強化のネットワーク構築が気付いたらゼロトラストだった  
山北 英司 氏（同志社大学総務部情報企画課情報ネットワーク係長）
- (9) グループ意見交換 2  
※ 大学の DX 向けた情報セキュリティの備えについて、グループで課題・目標を提示する。各グループの提示内容は、後日メールで事務局に提出し、参加者に共有します。

## （2）実施結果

44 大学から 64 名の参加があった。以下に、情報提供の概要とアンケートによる実施結果を報告する。

### 1. 情報提供の概要

#### ① 「情報セキュリティ関連の最新動向」

ランサムウェア攻撃の新たな侵入手口、VPN 装置やサーバの脆弱性を狙った攻撃、クラウドサービスの脆弱性、利用者の設定ミスによる情報漏えい、ネット詐欺の手口などが紹介され、攻撃手口の進化から脆弱性・脅威情報への対応の必要性が説明された。

#### ② 「クラウドセキュリティ対策と在宅セキュリティ対策の事例紹介」

クラウドセキュリティ対策では、管理コストとセキュリティレベルの維持向上を目指した仕掛け、在宅セキュリティ対策では、物理的な制約を排除したゼロトラストの実現を目的とした対策状況が説明された。

#### ③ 「大学情報セキュリティベンチマークリストの結果報告と課題」

ベンチマーク評価結果が報告された。例えば、経営執行部の危機意識に対する共有化は 7 ポイント向上、脅威となる事象の学内連絡体制・処理責任体制の確立は 7 ポイント向上など体制強化がみられた。また、リモートワークの増加からクラウドに対する利活用の注意喚起が 23 ポイント増加した。詳細は、巻末の 2021 年度事業報告の付属明細書【2-8】を参照されたい。

#### ④ 「クラウドストレージによるセキュリティ強化の事例紹介」

機密情報の持ち出し、学内・連携研究機関とのデータ共用、学外からのアクセス、データ容量の膨大化などの課題解決にクラウドストレージ Box を導入し、セキュリティ強化、オンライン授業での動画コンテンツ共有、ペーパーレス化などの活用効果が紹介された。

#### ⑤ 「ゼロトラストの実現に向けて」

従来の「学内ネットワークは安全」という境界を守る方法が通用しなくなってきたおり、「信頼されないことを前提とし、すべてのトラフィックを検査・ログ取得を行うゼロトラスト」について紹介され、学内セキュリティ検証の必要が説明された。

#### ⑥ 「セキュリティ強化のネットワーク構築が気付いたらゼロトラストだった」

以前は学外からの接続に VPN を設置していたが、緊急時連絡運用や海外キャンパス運用の課題から最適な運用要件をあげて対策を検討する中で、結果的にゼロトラストに辿り着き、アイデンティティ認識型プロキシーの導入を決定した。自宅 PC から事務用 PC にリモートデスクトップ接続し、多要素認証、セキュア Web ゲート

ウェイも導入することで、個人パソコンでのセキュリティリスクを最小化できたことが報告された。

## 2. グループの意見交換

4~5名が1グループとなり、グループディスカッションを35分程度で2回実施した。

1回目は、USB紛失事故のケーススタディに基づき、自大学セキュリティ対策の振り返りを共有し、改善点への対応度を「緊急」、「重要」、「今後の課題」として整理した。2回目は、大学DXの意識合わせを行い、クラウドを利用したDX推進でのセキュリティ対策について意見交換を行った。

## 3. 研究講習会の実施結果

参加者のアンケート(30名回答)から、感想・意見の一部を紹介する。

### (1) グループの意見交換について

- \* 他大学の事例を学び、有意義で参考になった。(15人)
- \* 他大学との情報・意見交換の時間がもっと欲しかった。(10人)

### (2) 受講後のアクションプランについて

- \* 規程の策定・見直し(6人)
- \* 学内への情報共有(5人)
- \* クラウドサービスのセキュリティ対策(3人)
- \* ゼロトラストへの対応(2人)

## 情報セキュリティ対策問題研究小委員会

2022年(令和4年)3月8日に4名が出席して開催し、セキュリティ関連情報の発信と来年度の大学情報セキュリティ研究講習会で取扱うテーマについて検討した。

### (1) 情報セキュリティ関連情報プラットフォームでの情報発信について

本協会Web上で、大学が抱えている問題に活用できるよう、セキュリティ関連情報の発信について検討を進めた。例えば、オンライン授業でのトラブルでどのようなセキュリティ上の課題があったかなど、大学の取組みを参考に考え、事例や困っている問題などどのような情報発信を希望するか、次年度にアンケートを行うことにした。質問項目としては、以下のような意見があげられており、これを参考にアンケートする予定にしている。

- ① 情報セキュリティ関連情報「コロナ禍の今だから確認しておきたい情報セキュリティ(リンク集)」活用の可否
- ② 本協会から情報セキュリティ関連で情報発信を受けたい内容、情報セキュリティ研究講習会で求めるテーマ、学内のセキュリティ関連で困っていることなど
- ③ 「サイバーセキュリティ協議会」経由で「JPCERT/CC」の早期警戒情報提供システム(CISTA)からの脆弱性情報、脅威情報、セキュリティ情報を定期的にメールで受信する希望の可否
- ④ 情報セキュリティ関連の先進的・特徴的・ユニークな取組みについて、他大学に紹介可能な事例の可否など

### (2) 大学情報セキュリティ研究講習会で取扱うテーマについて

委員から以下のような意見があり、次年度研究講習会の企画で検討することにした。

- ① 情報セキュリティ関連の最新動向、事事故例などの紹介
- ② ワークショップ・意見交換を演習やゲーム形式で実施することについて
- ③ 管理者のマネジメント向けにセキュリティの費用対効果について
- ④ オンライン授業での動画課題を同時再生する行為の不正防止対策
- ⑤ DXをテーマにSlackやTeamsなどグループウェア利用や書類の電子化
- ⑥ 規程の整備などセキュリティ監査の視点でのガバナンス
- ⑦ 改正個人情報保護法に関連した情報セキュリティの課題